

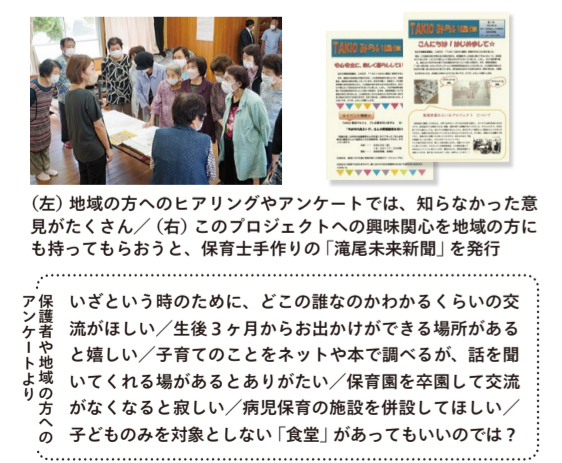
# 制度のはざまにいる子どものケアと ご近所さんの顔が見える拠点づくり えんえん

## 必要な人にちゃんと届く 子育て支援

私たちが運営する滝尾保育園では、保育所以外に、子育て相談や地域の方との意見交換もしています。そのなかで、**育児疲れ、子育てに不安のある方、仕事を探すために子どもを預けたい方は、0歳児家庭が圧倒的に多いのが実情です。**また、病後児、医療的ケアの必要な子どものいる家庭の支援も十分とは言えません。しかし、**大分市（2022年現在）では、一時預かり事業をする際の補助対象は1歳以上のみ。**また、現在の通常保育でそうした子どもたちを受け入れると、空間の使い方や保育士子どもへの接し方が異なるため、結果的に**1人ひとりに適切な保育がゆき届きません。**こうした状況を行政にも相談し、法人側で施設整備や人員配置が可能なら、0歳児の一時預かりも補助対象としてもらえるよう交渉しています。この計画が実現すれば、**既存の仕組みではカバーできていない保育の領域が拡充され、より幅広い子どもたちと家庭に適切な保育環境を提供することができます。**そして私たち保育士は、子どもたちが遊ぶ様子を通して異変や変化を敏感に感じることが出来る専門家です。この場所に訪れる人と交流するなかで、**子育てに課題を抱える家庭や貧困の問題、グレーゾーンの子どもの療育といった地域の「潜在的な課題」を見つけ、より広い子育て支援へと繋げていく**ことも目指しています。また、昨今の子どもが犠牲になる悲しい事件や事故を未然に防ぐことも期待できます。

## 社会的孤立を減らす 居場所をつくりたい

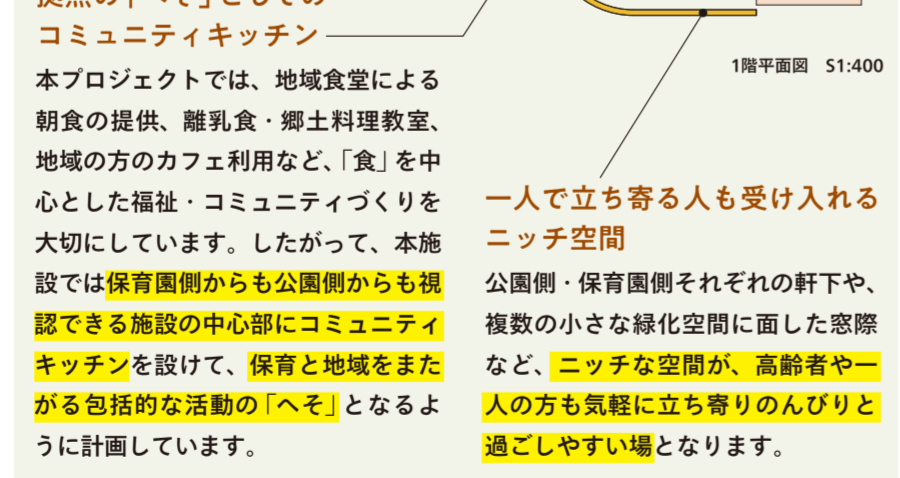
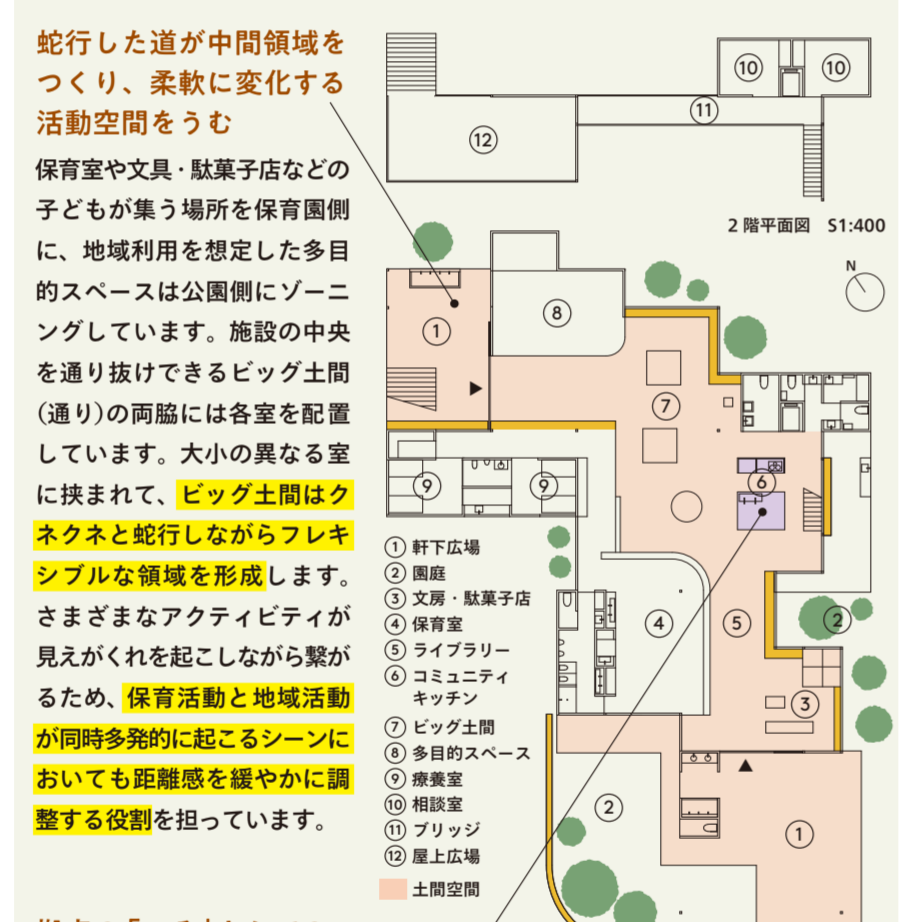
近隣の地域は近年、住宅地の開発が進んで子育て世帯が増加しています。同時に、長年住んでいる方々の高齢化は進んでいます。**「貧困や虐待と思われる家庭がある」「高齢者の孤独死が増えた」という声、「人に会って話す機会や出かけても居場所がない」と**話す近所のおじいちゃん。そうした状況が地域では、半ば当たり前になっています。応急処置的な対応だけでは、本質的な解決に至らないことは明らかです。本当に安心して暮らせる地域のためには、まずはご近所さん同士の顔が見える繋がりが相談できる人、居場所を見つけられる拠点が重要です。私たちは、保育の施設を中心に、地域にも開かれた場を作ること、**子どもたちだけでなく、地域における人々の繋がりが育みなおしていきたい**と考えています。



(左) 地域の方へのヒアリングやアンケートでは、知らなかった意見がたくさん。(右) このプロジェクトへの興味関心を地域の方にも持ってもらおうと、保育士手作りの「滝尾未来新聞」を発行

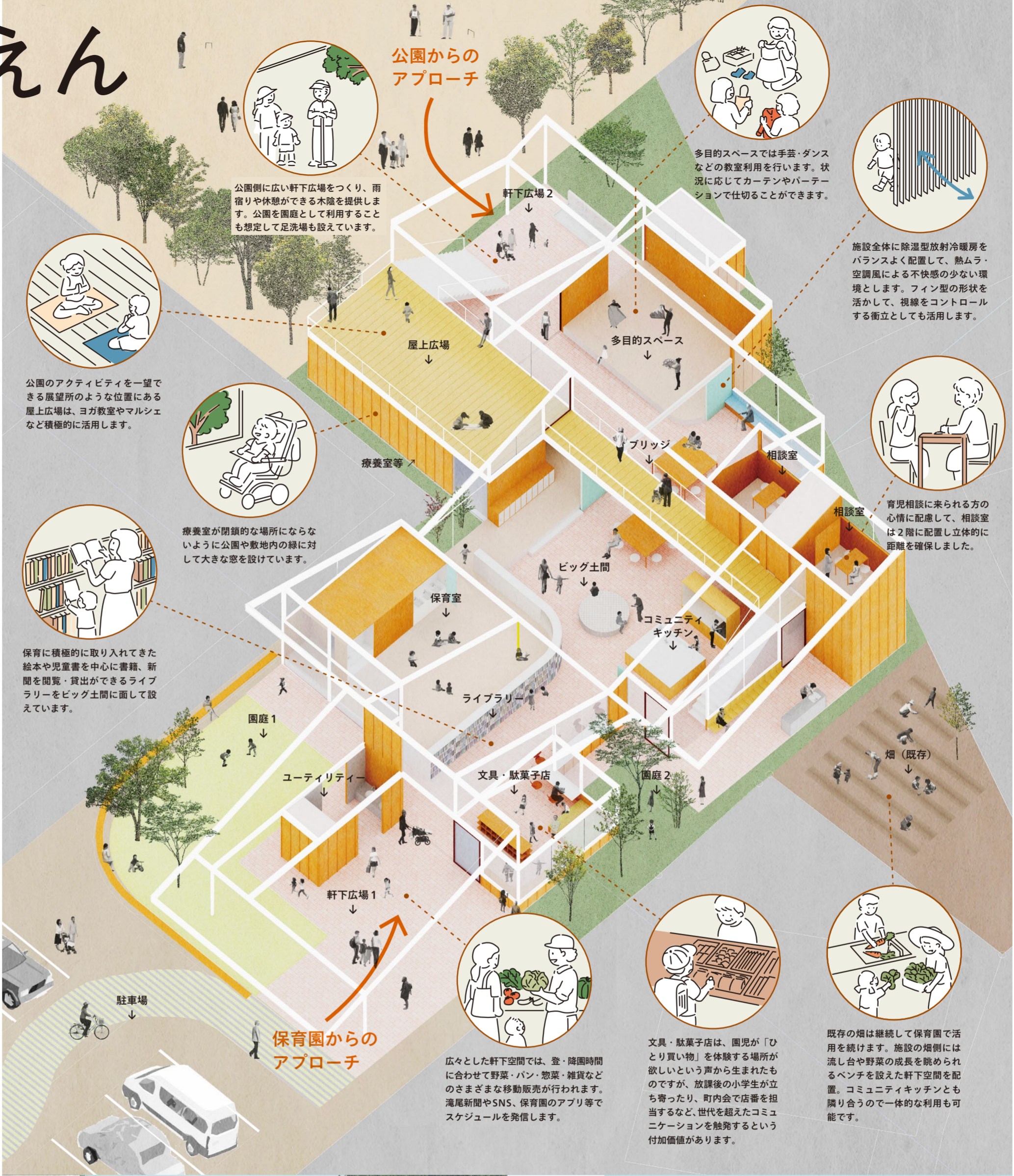
いざという時のために、どこ誰なのかわかるくらい交流がほしい/生後3ヶ月からお出かけできる場所があると嬉しい/子育てのことをネットや本で調べながら、話を聞いてくれる場があるとありがたい/保育園を卒園して交流がなくなると寂しい/病児保育の施設を併設してほしい/子どものみを対象としない「食堂」があってもいいのでは？

新しい施設での協力も見据え、お迎え時間に合わせた開催した八百屋さんによるマルシェ。食育講座も開催し、保護者や関係者を巻き込みながらイメージを共有して計画を進めています。



**周辺から孤立しない、折り曲げられた低い屋根**

カクカクと複数に分節された切妻屋根を採用することで、建物の高さを低く抑えて周辺環境へ配慮しつつ、内部では適度な空間の広がりを感じられます。また、外部からも軒下と内部の一部が見通せるため、**地域の人や保育園に関わりしるのなかった人も立ち寄りやすい佇まいです。**



**7:00 地域食堂@ビッグ土間**

施設内を通り抜けでき、近隣の小中学生の登校線にもなりません。朝食としておにぎりなどを安く販売し、子どもたちや地域とつながりをつくります。

**9:00 絵本読み聞かせ@保育園**

ライブラリーの内側の保育室では絵本の読み聞かせや遊びなどの保育活動が行われます。多目的スペースでは生け花教室、公園ではクラフトゴルフ大会が催されており、ビッグ土間は園児を預けた後の保護者が団練するなど、休憩スペースとして利用されます。

**11:00 育児相談@相談室**

昼前の活動的な時間帯でも、他の利用者との適切な距離を取られた2階の相談室で、安心して育児相談ができます。

**13:00 サイレントカフェ@ビッグ土間**

保育園の園児たちのお昼寝の時間帯は、ビッグ土間で静かにくつろぐ喫茶空間となります。読書(滝尾新聞などの配布)、園藝・将棋、休憩など、静かな過ごし方が可能です。

**17:00 放課後@文具・駄菓子店**

近隣の小学生たちが下校時に立ち寄り、文具・駄菓子店で店番をしている町内の方(当番制)との会話を楽しんだり、カウンターで宿題に取り組んだりします。それぞれの日常が溶け込む居場所を共有し、世代を超えて顔が見える関係をつくります。

**1F**  
軒下広場1 105.00㎡※(内WC 2.0㎡)  
ビッグ土間 199.51㎡  
軒下広場2 46.75㎡※  
保育室 44.20㎡  
調理室 2.00㎡  
収納 0.75㎡  
幼児用WC 14.75㎡  
職員 0.50㎡  
ホール 30.50㎡  
倉庫1 3.75㎡  
療養室1 10.50㎡  
療養室2 12.00㎡

**バックヤード** 3.75㎡  
療養室WC 3.75㎡  
ビッグ土間 199.51㎡  
(内文具・駄菓子店 19.25㎡)  
多機能WC 6.00㎡  
WC1 1.88㎡  
調理室 2.00㎡  
WC2 2.25㎡  
授乳室 3.75㎡  
EV 1.88㎡  
多目的スペース 31.28㎡  
倉庫2 7.00㎡  
※屋内の利用につき床面積に参入

**2F**  
相談室 9.75㎡  
収納 0.94㎡  
相談室2 10.50㎡  
収納 0.94㎡  
EV 1.88㎡  
ブリッジ 19.50㎡  
階段 4.08㎡

**屋外施設など**  
外階段 10.00㎡  
庇 13.00㎡  
緑地 23.75㎡

1F床面積: 531.75㎡  
2F床面積: 47.59㎡  
延べ床面積: 579.34㎡  
建築面積: 568.50㎡